

2017 多摩CL 大会要綱

20170703 ver.

1. 多摩チャンピオンズリーグは、参加各クラブの4年生以下で構成されたチームで参加するものとする。
2. 本大会は8人制にて開催するものとする。
3. 大会の競技規則

本大会は、(財)日本サッカー協会(以下日本協会と記す)発行『サッカー競技規則』の本文、『審判員への追加指示』および『通達』などの、最新の内容に拠る。ただし、以下の事項を別途定める。

- 1) 試合成立に必要な競技者数は、両チームとも5名以上とする。
- 2) 試合で使用するボールは、少年用4号の縫いボールを両チームが持ち寄り、主審が使用球と予備球とを決定する。
- 3) スタッド取り替え式スパイクは、着用禁止とする。
- 4) 交代は「自由な交代」を実施し、交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場できる。
- 5) 1試合1回の警告は以降の試合に持ち越さない。退場処分となった選手は当該試合、及び同日に行われる次の試合に限り、出場できない。
- 6) 試合時間は30分とする。ハーフタイムのインターバルは5分とする。飲水タイムは主審の判断により、設ける事が出来る。実施する場合には試合前に両チームにその旨を連絡する。尚、飲水タイムはアディショナルタイムには含めないものとする
- 7) 競技場の各エリアのサイズは、ペナルティーエリアの縦12m、ペナルティーマークの位置8m、ペナルティーアークの半径7m、ゴールエリアの縦4m、センターサークルの半径7m。またCK、FK時に相手競技者が離れる距離は7m以上とする。**競技場の広さは、縦60m×横38mの大きさが望ましいが、各会場事情による**
- 8) テクニカルエリアが設けられていない場合には、ただ1人の役員のみがベンチにとどまったまま戦術的指示を伝えることができる。テクニカルエリアが設けられている場合には『サッカー競技規則』内の「テクニカルエリア」の項目に準ずる。
- 9) ベンチ等に待機する交代要員およびベンチ役員は、フィールド内の味方・相手競技者と明確に区別できる色のジャージまたはシャツ、あるいはヒップスを着用する。尚、ベンチに待機できる役員は最大3名までとする。(救護等の特別な場合を除く)

不戦試合のスコアは、「5-0」の扱いとする。

リーグ戦での順位決定は、勝点制とし、次の順による。

- ① 勝点の多いチームが上位。(勝：3点、引分け：1点、負：0点)
- ② 総得点-総失点で差を求め、その数値(得失点差)の大きいチームが上位。
- ③ 総得点の多いチームが上位。
- ④ 当該チームの対戦成績による。(勝者が上位)
- ⑤ 上記①、②、③、④で順位が決定しない場合は、当事者(不在の場合、当事者の了承を得たうえで第三者立ち会いの元、大会運営者の代理も認める。)のジャンケンにより順位を決定する

審判を担当するチームは、日本協会が公認する有資格審判員を2名以上帯同させる。また試合では必ず審判服を着用し、審判章をつけること。審判服は審判シャツ、審判パンツ、黒ソックスを着用。

複数チームで参加する場合は、年間を通して選手の出場チームは固定するものとし、同一選手が複数チームを掛け持ちで出場することはできない。

4. ●ルールの基本的考え方

- (1) 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない
- (2) 指導者や保護者など、大人のフェアプレー精神も養う
- (3) フェアプレーの精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対する言動にも注意を払い、指導をしていく

●ベンチ役員の退席

- (1) ベンチからのコーチングは役員のみ可とする。
- (2) ベンチにいる役員(監督、コーチ、スタッフ等)が、判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行ない、主審から一度注意を受けた後、再度何れかの役員が同様な行為をした場合は、主審の判断により、その役員を退席処分とし、それ以降のベンチからのコーチングは、不可とする。

5. ●表彰について

(1) チーム表彰

優勝・・・ 賞状、トロフィー、賞品

準優勝・・・ 賞状、トロフィー

3位・・・ 賞状、トロフィー

4位・・・ 賞状、トロフィー

4位・・・ 賞状、トロフィー

(2) 個人表彰

大会の優秀選手を次のように表彰する。

全チームから各1名・・・ 賞品

6. 会場使用料

会場提供チームには使用料として以下の金額を支払う

※注意事項

- (1) コート作りは第一試合の両チーム及び会場チームにて協力して行なうこと、集合はキックオフの1時間前
- (2) 最終試合の両チームは協力してグラウンド整備を行なうこと
- (3) 各学校会場への入校は8:30以降とする
- (4) 会場当番の仕事は試合運営、予定表の掲示、結果の集計を行う
- (5) 会場当番チームは試合結果を多摩CLメーリングにて報告のこと
- (6) 大会期間中、自チーム選手の健康状態を把握し、決して無理をさせないこと。
- (7) 大会期間中に生じた負傷、事故などの責任を実行委員会及び他のチームに問わないこと
- (8) 熱中症対策のベンチ用テントは自チームで用意すること